

学校坂道

校長だより
2025年(令和7年)6月24日



自分を高めるために

先日、ある高等学校の校長先生が本校に来てくださいました。
今年度の入試についてお聞きし、本校卒業生の様子についてお話しくださいました。

その折に尋ねてみました。

- ① どんな生徒が伸びますか？
- ② 進学や就職に向けた進路指導で、何を大切にされていますか？

その校長先生は、次のように話してくださいました。

- ① 自分の意志で選んで来てくれた生徒とそうでない生徒とでは、入学してからの成長が全く違うと思います。目的と意欲を持って入学してくる生徒は、やはり高校3年間で充実しています。
- ② 進みたい進路を自分の意志で選ぶこと、そして、その進路に向かってがんばってもらうことを目指します。そのために「どうして?」「(そのために)どうしていくの?」と、できるだけ具体的に語ることができるように尋ねます。
「あなたが進みたい大学(会社)は、どんな人物がほしいと思いますか?」と尋ねたり、ときに、「あなたのクラスやクラブにいる人で、どんな人が選ばれると思いますか?」と尋ねたりすることもあります。語らせたいのは、どうしてそう思い、自分は何をがんばっていくのかを明らかにさせたいからです。

こうしたお話を受け、わたしたちの進める進路指導を見つめなおしていきたいと思います。

ある研修で、わたしが問われた質問を紹介します。

あなたは、ファーストフード店の店長だとします。バイトをしてくれる人を募集しました。
どんな人物を採用したいですか？

さて、みなさんはどうお考えになられますか？

(わたしが考えたこと)

進路を選ぶとき、「認めてもらう」「入れてもらう」という現実があります。

どんな自分に高めていくのか、そのために何をがんばっていくのかを考え、実行したいものです。

○店の接客マニアルを守って働く人物
○アシスタントがよかったとき、より正しい判断ができる人物
○店がよりよくなるアイデアを考える人物